

岡崎市の観光と物産

桜まつり 家康行列

岡崎公園を中心に約800本の桜が咲き誇ります。岡崎の春の風物詩「家康行列」は、徳川家康公を中心に三河武士、姫など700余名が市の中心部を練り歩きます。合戦の再現や鉄砲隊による演武もあり、絢爛豪華な時代絵巻が繰り広げられます。



岡崎城下家康公夏まつり花火大会

三河花火の粋を集めた全国屈指の花火大会。江戸時代から情緒豊かな鉢船を浮かべた花火まつりとして知られています。菅生神社の祭礼が元となっています。仕掛け花火、金魚花火、スター・マインなど、バラエティに富んだ花火が楽しめます。



綾川町の観光と物産

うどん(さぬきうどん発祥の地)

空海(弘法大師)の甥にあたる智泉大徳。空海から「うどんの祖」を伝授されたと言われ、それをふるさと綾川町淹宮の地で両親にふるまつたのが、讃岐うどんの始まりとも言われています。

アイスも販売されています。様々な「うどん」をぜひ賞味ください。

町内には数多くのうどん店があります。また、道の駅「淹宮」では、「うどんアイス」も販売されています。

天満宮の祭神である菅原道真は讃岐守として讃岐国に赴任。淹宮天満宮がある場所はかつて讃岐国国司の官舍が存在した場所と言われています。県内でも有名な学問の神様として多くの参拝者を集めています。

毎年8月25日には、国の重要無形民俗文化財に指定されている「淹宮の念仏踊り」が行われます。大飢饉の際、道真公が七日七夜神に祈り続けました。祈りを通じて三日三晩雨が降り続き、喜んだ村人達が踊りを舞い、官公に感謝を表したのが今に残ると言われています。

柏原渓谷

町名の由来ともなっている「綾川」の上流にあるのが柏原渓谷です。清流と奇岩の織り成す渓谷美が約7kmに渡って続いています。渓谷を流れる清流は「水源の森百選」や「さぬきの名水」に選ばれており、夏は森林浴や川遊び、秋はクヌギやカエデの織り成す美しい紅葉を楽しむことができます。

親子獅子舞

毎年10月に行われる春日神社と畠田八幡神社の秋祭りで、「中筋組」と「矢坪組」の両組によつて奉納されています。渓谷を流れる清流は「水源の森百選」や「さぬきの名水」に選ばれており、夏は森林浴や川遊び、秋はクヌギやカエデの織り成す美しい紅葉を楽しむことができます。



岡崎市と綾川町へのアクセス

車

岡崎IC(東名高速)豊田JCT(伊勢湾岸道)四日市JCT(新名神高速)草津JCT(名神高速)高槻JCT(新名神高速)神戸JCT(山陽道)神戸西IC(神戸淡路鳴門道)鳴門IC(高松道)府中湖スマートIC

所要時間 約4時間30分

鉄道

岡崎ー(JR東海道本線)名古屋ー(東海道新幹線・山陽新幹線)ー岡山(JR瀬戸大橋線)ー琴平(ことでん)ー綾川駅

所要時間 約4時間30分

岡崎市役所 六ツ美支所

〒444-0244 愛知県岡崎市下青野町天神64番地
TEL.0564-43-2500

綾川町役場 綾上支所

〒761-2292 香川県綾歌郡綾川町山田下2224番地
TEL.087-878-2211



大嘗祭 悠紀斎田・主基斎田とは

大嘗祭は、天皇即位後初めて新穀を供えて収穫を祝い、今後の豊作を祈願する宮中の儀式で、天皇一代に一度だけ行われます。この大嘗祭を行うにあたり使用される新米を作る田を斎田といいます。斎田は、京都より以東以南を「悠紀」の地、以西以北を「主基」の地と称しそれぞれ箇所ずつ選ばれます。

大正4年(1915年)大正天皇即位の大嘗祭では、悠紀斎田に岡崎市中島町(旧碧海郡六ヶ美村大字中島字丸の内)が、主基斎田に香川県綾川町(旧綾歌郡山田村)が選定されました。

斎田の保存・伝承と文化財としての価値

大嘗祭がすんだ後も、地元関係者の努力により斎田の保存やお田植え行事が連綿として伝承されてきました。大嘗祭悠紀斎田は、昭和41年に岡崎市無形民俗文化財に指定、大嘗祭主基斎田行事は、平成12年に綾川町有形・無形文化財に指定され、後世に伝えるに足る貴重な民俗資料としてその価値が認められています。また、それぞれの地に資料館が整備され、当時の装束や用具などが展示されています。

斎田の保存会及び相互交流

お田植え行事の保存・伝承のため、それぞれの地域で民間主体の斎田保存会が組織されています。平成元年に悠紀斎田保存会関係者が主基斎田を訪問したことを契機に保存会の相互交流が始まり、悠紀・主基斎田80周年となる平成7年には、両保存会による交流提携が調印されました。平成27年の100周年記念事業の開催にあたっては、両保存会の緊密な連携のもとで準備が進められた結果、それぞれの地で秋篠宮同妃両殿下をお迎えして盛大かつ厳肅に開催され更に絆が深まり、現在も交流を続けています。平成29年に岡崎市へ地域から綾川町との交流提携要望書が提出され、令和元年に「斎田ゆかりの地交流提携」を締結することとなりました。

斎田の保存・伝承と文化財としての価値

大嘗祭がすんだ後も、地元関係者の努力により斎田の保存やお田植え行事が連綿として伝承されてきました。大嘗祭悠紀斎田は、昭和41年に岡崎市無形民俗文化財に指定、大嘗祭主基斎田行事は、平成12年に綾川町有形・無形文化財に指定され、後世に伝えるに足る貴重な民俗資料としてその価値が認められています。また、それぞれの地に資料館が整備され、当時の装束や用具などが展示されています。

斎田の保存会及び相互交流

お田植え行事の保存・伝承のため、それぞれの地域で民間主体の斎田保存会が組織されています。平成元年に悠紀斎田保存会関係者が主基斎田を訪問したことを契機に保存会の相互交流が始まり、悠紀・主基斎田80周年となる平成7年には、両保存会による交流提携が調印されました。平成27年の100周年記念事業の開催にあたっては、両保存会の緊密な連携のもとで準備が進められた結果、それぞれの地で秋篠宮同妃両殿下をお迎えして盛大かつ厳肅に開催され更に絆が深まり、現在も交流を続けています。平成29年に岡崎市へ地域から綾川町との交流提携要望書が提出され、令和元年に「斎田ゆかりの地交流提携」を締結することとなりました。

斎田の保存会及び相互交流

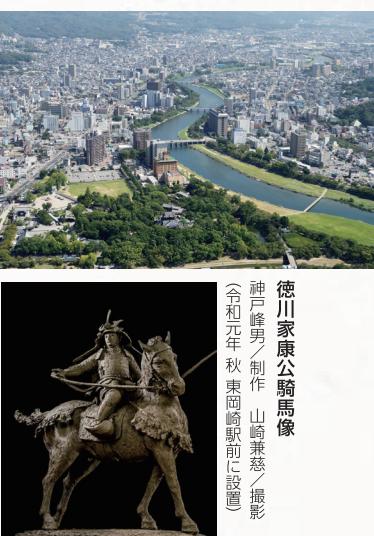
悠紀

愛知県岡崎市の紹介

岡崎市は、愛知県の中央部に位置し、古より東西交通の要衝として栄え、江戸幕府を開いた徳川家康公の生誕地として、悠久の歴史と伝統に育まれた美しい都市です。

に市制を施行し、平成1年には中核市に移行しました。平成18年には隣接する額田町と合併し、西三河の中心都市として発展を続けています。

岬の魅力ある景観を醸し出しており、この水辺空間を活用しながら新しいまちづくりを推進しています。また、徳川家及び三河武士に由来する数多くの歴史資産があり、これら歴史文化資産を活かした観光産業都市を目指しています。



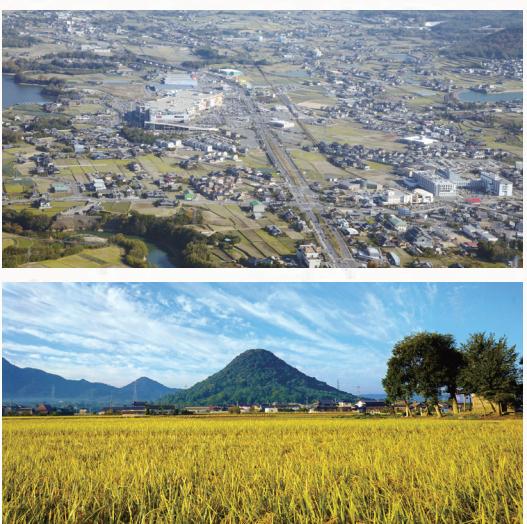
主基

主基齋因由因植文

綾川町は、香川県のほぼ真ん中に位置し、平成18年3月21日、綾上町と綾南町が合併し誕生しました。

その名前は、町のなかほどを流れる“綾川”から名付けられ、のどかな田園と里山が織り成す讃岐ならではの風景でありながら、そこに新興開発地の活気が加わり発展を続けています。

また讃岐名物うどんは空海によって原形が唐より持ち帰られ、弟子の知泉（滝宮生まれ）によってこの地に根付いたといわれており、綾川町は「うどん発祥の地」として名乗ります。



麦
季

香川県綾歌郡綾川町の紹介

平成18年3月21日、綾上町と綾南町が合併し誕生しました。

その名前は、町のなかほどを流れる“綾川”から名付けられ、のどかな田園と里山が織り成す讃岐ならではの風景でありながら、そこに新興開発地の活気が加わり発展を続けています。

また讃岐名物うどんは空海によつて原形が唐より持ち帰られ、弟子の知泉(滝宮生まれ)によつてこの地に根付いたといわれており、綾川町は「うどん発祥の地」として名乗ります。



毎年6月2日前後の日曜日は主基斎田跡地にて開催されています。

毎年6月2日前後の日曜日は、主基彦田跡地にて開催されています。

悠紀斎因・主基斎因
それぞれの歩みと交流